

インバウンドガイドとして 活躍するためのアドバイス

全国通訳案内士 伊藤和夫

自己紹介

伊藤和夫 （愛媛県松山市在住）

◆2008年度全国通訳案内士合格（2009年2月）

◆2009年3月、日本観光通訳協会主催の「新人ガイド研修」受講
（東京、京都）

◆2009年からガイド業務開始（同年4月、会社勤め終了）

◆ガイド業務受注を目指して、2009年末に
「四国観光通訳観光協会(SGO)」を設立、現在会長

◆その他ガイド組織への所属

1. 「日本観光通訳協会(JGA)」会員
2. 「全日本観光通訳案内士連盟(JFG)」会員
3. 「四国遍路通訳ガイド協会(SHGA)」会員

主な活動エリアとガイドのタイプ

- ◆ 団体のお客様が多い
- ◆ ショアークルーズ船の寄港に伴う
愛媛（松山、内子、宇和島） / 高知（高知新港） / 徳島（小松島）
/ 香川（高松） / 京都（大阪港） / 神戸（神戸ポートターミナル）
/ 岡山（宇野港） / 鳥取・島根（境港） / 大分（別府）
/ 熊本（八代） / 宮崎（油津）
- ◆ スルーガイド
大阪 / 岡山 / 広島 / 四国 / 東京 / 神奈川 / 長野

対象者の基本的イメージ

◆参加者を想定すると、
インバウンドのガイドをしたいと思っている人：



1. 全国通訳案内士の資格を持っている人（既に経験のある人）
2. 全国通訳案内士の資格を持っている人（未だ経験のない人）
3. 地域通訳案内士（他県）の資格を持っている人
4. 上記各資格はないが、やればできる可能性を持っている人
5. ガイドする力を養成して、将来活躍したいと思っている人



上記「2」に該当する人を想定の中心にして、
話を進めさせていただきます

説明するツアーの基本イメージ

ツアーには様々な分類の仕方がある

顧客数 → 個人旅行 FITエフ・アイ・ティ (Foreign Independent Tour)

団体旅行

時間 → 数時間、半日、1日、複数日(スルーガイド)

団体旅行 (一日又は半日のツアー)
(クルーズ船の寄港に伴う各地でのツアー)
Shore Excursion (ショアエクスカーション)



これを基本イメージとして話を進めさせていただきます

ガイドの服装、持参するもの（私の場合）

◆服装：襟付きシャツ、ジャケット、帽子、通訳案内士の許可証

◆持参するもの

ガイド棒（stick）（船会社の指定物を使う場合もある）

ホワイトボード / A 4 サイズのノート

筆記具

準備した写真や図

電子辞書

PC（ノートパソコン） / USBケーブル / U S B メモリー

ガイドとして気をつける事

◆タイムスケジュール

◆迷子（missing person）を出さない配慮

車中での注意喚起、導線・歩き方、集合場所

◆集合時間の周知は口頭説明に加えて、

紙又はホワイトボードにも書く

◆身体の弱い人への配慮

◆ユーモア、ジョークを楽しむ感覚

（しっかりと準備 → 現場では自分の楽しむ → **心のゆとり**）

◆自然なコミュニケーション：「すごくよかったわ！」 → 「良かったですね」

顔だけで反応 → **言葉で反応** **I'm happy to hear that** / I'm pleased to hear that

その日だけでなく、クルーズ全体の旅程を頭に入れておく

What I'd like to say

Let's try it !!!

基本的な準備として、お勧めしたいこと (全国通訳案内士の資格を持っている場合)

- ◆「新人ガイド研修」の受講（全国大の組織）を勧めます
(日本観光通訳協会(JGA) / 全日本観光通訳案内士連盟(JFG)等々)



- ・ガイド活動の基本的な心得が理解できる
- ・第一線で活躍するガイドの話が聞ける

- ◆ガイドをしたいという意思を表明し、具体的な活動を開始する
→ガイド組織へ加入するなど

JGA/JFGだと → エージェントとのマッチング機会をつくってくれる

- ◆名刺の作成も必要でしょう（自分で作成可）

(全国通訳案内士の資格を持っていない場合)

私のアイデア

- ◆香川県の例
- ◆高知県の例



そこから浮かぶアイデア

「基本的情報 + 写真 + 動画」 が望ましい



優良モデルになるだろう

もしガイドの依頼・要請があったら

- ◆受けてください（時間的に余裕のあるものに限定したらいい）
- ◆そして、下見する
駐車場（複数の可能性） / 導線 / トイレ(数、様式、清潔度)
- ◆次に、準備する
自分なりの原稿を用意する



「自分なり」でいい、と、私は、思う

「自分なり」の原稿の作り方

- ◆ **その時点の自分の全力**を込めてつくる
- ◆ お客様にはnon-native speakerも沢山いる、**分かりやすい表現**に
- ◆ ガイドは経験とともに**成長する**
 - 喋る内容（原稿）も**変化する**
（**インパクトが強くなり、聞いて分かりやすくなる**）
- ◆ やがて、「**自分の型**」ができてくること、に気づく
各ガイドは背景が違う、それを活かすべきである
他人のコピーでなく、自分流の喋り方を**create**すべきである

例えば、どう変化するか

例 1 :

◆もうすぐ来島サービスエリアに到着します。

We will soon arrive at the Kurushima service area.

◆到着しました。

We have arrived at the Kurushima service parking lot. (新人の頃)

Here we are (at the parking lot). (はい、着きました) (経験を積むと)

失敗例

例 2 : (原稿なし、急に思いつきで喋り始めていて)

喋っていて、次に来る **単語が浮かんでこない** → 笑ってごまかしたのかな？

例 3 : (**最近**)

単語が浮かばないこと自身を **見せている**、VoiceTraを使って)

- ◆ ああ、あそこに犬の散歩をしている人がいますね。
- ◆ 最近は増えていますよ。
- ◆ 私も犬にお世話をしたことがあります。息子の犬だけど代わりに面倒見
ていたんです。
- ◆ この犬ビーグルでね、イギリス出身ということで、頼まれて名前をつけ
たんです。私、若い時にバートランドラッセルの英文よく読みましたので、
ラッセルと名前つけました。ただね、この犬、まったく、哲学的ではない
んですよ。 **やんちゃ** なんです。 (naughty)
- ◆ この犬と散歩しながら、私英語の勉強しましたよ。初めから終わりまで、
ずっと英語を喋るんです。

Let's go, Russell. What are you doing Now? Is there anything good?

- 「一寸待ってね」と言うときは「**Just a minute / Just a second**」を使う
「Wait a minute」は使わない

「自分の型」が出来てくると

◆自分の喋りが「原稿」から離れてくる

◆全てのツアーが、ほぼパターン化できる。

①出発－②目的地1到着－③目的地1探索－④目的地1出発
－⑤目的地2到着－⑥目的地2探索－⑦目的地2出発
－⑧エンディング－終了

◆①と⑧は毎回ほぼ同じ（バス運転手とガイドは運命共同体）

◆②と⑤も大事な点はほぼ同じ

◆③と⑥は個々に違う（このパートはまずしっかりとおさえましょう）

◆目的地と目的地の間の車中の喋り方（これが意外と難しい）

目的地(destination)に関する説明

- ◆直接英語で書き始めてもいいが、もし行きづまったら、
「**要するに私は何を言いたいのか**」と考えて、まず**平明な日本語**にして、
それを**平明な英語**にする

【日本語による思考は大事である。日頃から**明晰な日本語**を心がけたい】

- ◆【気をつけるべきこと】：パンフ又はインターネット上の説明
80%くらいいいのだが、20%くらいは気をつけた方がいい
「**書き言葉**」を中心に纏めている → そのまま借用する → ややこしい表現に
ある**言葉を捨てる**とか**語順変更**すれば、使える （新人時代は気づかない）



コンテンツを十分把握 → **平明かつ分かりやすい言葉での表現**

例：《金閣寺のパンフ》

The elegant structure, reflected on the graceful pond, is among the finest in the world. (このパンフの英語を喋りの原稿にしたらずい。)

なぜ「reflected on the graceful pond」(分詞構文)を文中に入れる？

少なくとも、The elegant structure is among the finest in the world, reflected on the graceful pond. にすれば、少しマシになる。

けれども要するに、The elegant structure is reflected on the graceful pond, and its looks are really excellent. でいいのだろう。

私なら、

The elegant structure is reflected on the pond, and its looks are really excellent.

とするだろう。

特に重要な情報は？

◆特に重要なことは何か？ 意識しておく

(例：このお城は12現存天守の一つです)

- ・ **バスの車中で話しておくことが望ましい**
- ・ **バスを降りると全員に声が届かない可能性がある**

◆メリハリをつける

見えないもの（歴史等） は、説明しないと分からない

けれども、**見えるもの（建物の構造等）** は説明しなくてもわかる場合がある

補足 (advanced level)(一般論としては)

(私の場合) 固有名詞はなるべく使わないように努力している

加藤嘉明 (かとうよしあき) : Yoshiaki Kato, or Kato Yoshiaki
→ **with the name of Yoshiaki**

This castle was built about 400 years ago by the feudal lord with the name of Yoshiaki.

江戸時代 : the Edo period → **the feudal days**

This castle is one of the only 12 castles retaining the structure built in the feudal days.

明治時代 : the Meiji era → **Japan started its modernization**
about 160 years ago

In Japan, the feudal days ended about 160 ago, and the nation's modernization started.

固有名詞等を使わざるを得ないとき

「古事記、日本書記、神武天皇、征夷大將軍、將軍、江戸時代、徳川將軍初代、家康、慶喜、大政奉還、王政復古、明治維新」

固有名詞、日本特有の概念に言及する時、せざる得ないとき

この種の言葉を使う時→ **覚悟を決めて**かかる
補助資料を見せながら、説明するのがいい。

「四国観光通訳協会」 <https://shikoku-guide.org>
資料閲覧又はダウンロード可能としています

数字の表現（一般論として）

数字はまるめるたほうがいい

- ◆ 68, 73 → about 70 / around 70
- ◆ in 1710 → in the early-18th century
- ◆ in 1745 → in the mid-18th century
- ◆ in 1789 → in the late-18th century
- ◆ 158 years ago → about 160 years ago / around 160 years ago

バスの車中でのガイディング

「大きな声で、ゆっくりと、途切れことなく、あなたの個人的経験でもいいですから、車中でも話してください」

このパートが、鍛えるべき箇所だと、すぐに気づく

◆地域の特徴

- 愛媛、松山、四国、日本、を、どう捉えるか？
- 気候、文化、地形、産業、食べ物など

◆バスの車中から見えるもの、に注目したい

- 目立つもの、でかい、大きいもの、
- コンビニ、ガソリンスタンド、薬局、眼鏡屋、洋服の青山、家電販売店、靴、中古車販売店、犬の散歩風景、学生の通学帰宅風景

バスの車中でのガイディング（続き）

◆お土産候補

扇子、風呂敷、浴衣

◆日本の皇室の話

皇室カレンダーを使う

天皇－貴族－武士－天皇－象徴天皇

◆自分の趣味も可

歌（What a wonderful world！） / 故郷（日本の歌の英訳が趣味）

ガイドの立ち方 (車中、お客様との位置関係)

1. 最初は対面

2. その後、前方向かって着席

3. が、しかし、

➤ 写真、図を見せるとき/ガイドとして気合が入った

私の場合：

一般論：「着席」が中心と想像

ガイドの喋り方で注意すべきこと

- ◆ 1つのガイドトークはいくつかの構成要素からなる
- ◆ で、その中の1つの構成要素に着目すれば
短く、コンパクトに喋れるように纏めた方がいい/
短い言葉の方がインパクトが強い / 長々と喋ると飽きられる可能性/
英文も短いセンテンスの積み上げがいい
- ◆ 車中で居眠りしている人が多くなった時—正直、しめた、と思う—
この時は「落ち着いた声で、前を向いたまま、たんたんと、喋る」と、いいと思う
しかし、黙って過ごす場合もある（少なくとも私の場合は）

「あのガイドは喋りすぎだ」といったクレームは聞いたことない
よく喋れるガイド、長く喋れるガイドになりたいと、皆思っているはず
テーマは**些細なこと**で十分、それの方がいいでしょう

ガイドの喋り方で注意すべきこと（続き）

◆日本人特有の**謙遜的表現**を使ってはならない

例：

➤私、あまり英語がうまくないんですが、、、

➤まだ慣れてないんですが、、、

➤私、まだ経験が浅いんですが、、、

➤私も、ここ初めてなんですが、、、

↑

言ってはならない

エージェントに本音を言うのは構わないけど

参考になれば

「四国観光通訳協会」 <https://shikoku-guide.org>

→ 「社会貢献施策」 （各種資料のダウンロード）

→ 「tour-guide activity 支援サイト」

<https://kazitoh.jimdofree.com>

「ガイドディング案（高知城、桂浜）」（pdf資料）

（2024.1.8のオンライン研修）

ガイドの日頃の訓練

◆発声

◆名詞化訓練

(目で見えたモノをパット言えるか)

発声訓練

ガイドは、基本的に、音声で勝負する仕事 → 発声が大事

母音：

「ア」系の母音が複数

The bus comes. My boss comes.

子音：

子音の後に母音を入れない

練習としては、大きさにやる

具体 2 例

◆ 昨年開創1300年を記念して文殊菩薩が1か月開帳されました。

Last year in order to commemorate the 1300th anniversary of the temple's establishment, the statue of Monju Bosatsu was open to public for a month.

◆ そして（その後）、天守閣へ向かう予定です。

Then you are scheduled to go to the castle tower.

1300th anniversary

1300th → (thirteen hundredth)

hundredth (**həndrədθ**) anniversary

scheduled (**skedʒu:ld**) to go :

名詞化訓練

正岡子規の「散策吟行」に倣い、時々街を歩きながら、

That is A./I can see A ahead of me. /There is a B on my left.

風景描写で気にしたいのは、「位置関係」と「基本構文」と「名詞」

◆位置関係：

右手、左手、500メートルくらい先に

◆基本構文：3構文

That(This) is… / I(You) can see…/ There is…

残る問題は：目に見えるものを A 又はB と言えるかどうか？

見えたモノをガイド言語で表現する

A又はBの言い方（名詞化の仕方）

前置修飾

+

コアとなる単語

+

後置修飾

◆前置修飾

◆後置修飾

➤分詞（現在分詞）(過去分詞 beingを付ければ現在分詞)

➤関係代名詞（目的格の関係代名詞は殆ど省略） / 関係副詞

➤前置詞句

行きづまったら、そこがポイント

ああ、あれは手芸店だ。

• This is a handicraft shop.

• This is a shop selling handicraft materials.

- hand /craft /shop/store – materials –

• This is a shop, a kind of *shugeiten* in Japanese. ←（困ったら）

何も言わないよりはまし

【私の経験談から】

(ある時、場所は宇和島、三浦半島、坂下津（さかしず）を出発して、土居真珠を訪問の後、バスで遊子水が浦の段畑へ向かう途中)

**私の口が重かった → 船からのスタッフが私に何か話してと言った
→ 困った → 目の前に桜の木があった → その桜の木について語った**

You can see some trees on your left. Those are cherry trees. If you come here in spring, you can enjoy seeing beautiful cherry blossoms.

- ◆ ガイドの基本は、見えるものを説明する。
- ◆ 見えるものを英語で何というか？

突きつめれば名詞が大事！

見たモノをガイド言語で描写（名詞化）する能力がポイント！

まとめると

風景描写に必要なのは、

◆基本構文（3構文）：

➤This(That) is(are)…

➤You can see…

➤There is (are)…

◆位置関係の表現：

◆名詞：対象A（見えるものA）（Aの名詞）

「Aが見える」が大事（80%）

Aがどうだこうだ、は次の問題

「四国観光通訳協会」のwebsite <https://shikoku-guide.org> を見れば、
「身の回りのモノとコト」（生活関連英単語集、消費者物価指数資料を活用）の
ダウンロードが可能

音声翻訳アプリの紹介

- ◆VoiceTra(ボイストラ)
- ◆ 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)が開発したもの
- ◆ 観光庁が観光事業関係者へ勧めているもの

実際の使用時画面



マイクボタンを押して話してください。



入力した文です

駅までの行き方を教えてください。

こう翻訳しました

Please tell me how to get to the station.

翻訳の意味はこれです

駅までの道を教えてください。



Tap the microphone button and speak.



Q & A

Thanks for your keen attention !